

平成 1 9 年 度 事 業 報 告 書

1 組織強化活動

(1)全戸会員制の推進（年間）

本事業は、昭和 5 6 年度よりスタートしたが、最近の福祉事情の変化に伴い、在宅福祉、地域福祉の確立が重要な課題であるため、平成 2 年度からの在宅福祉サービス実践地区指定事業の研修会並びに自治会の福祉研修会の機会をとらえ、全戸会員制を推進し、自治会の協力のもとに 8,330 戸（旧士別市地区 7,564 戸・旧朝日町地区 766 戸）の加入実績となった。

(2)高額寄付者に対する感謝状の贈呈

社会福祉事業に 1 0 万円以上の金品を寄付された 4 6 件（寄付者）に、感謝状を贈呈した。

(3)研修会等への参加

| | |
|---------------------|-----------------------------------|
| ブロック別社協事務局長会議 | （ 19 年 5 月 17 日 士別市 1 名 ） |
| 全道社協会長事務局長研究協議会 | （ 19 年 6 月 14 日 ~ 15 日 札幌市 2 名 ） |
| 市区町村社協事務局長研究協議会 | （ 19 年 6 月 13 日 ~ 14 日 札幌市 1 名 ） |
| 上川地区社協会長事務局長会議 | （ 19 年 6 月 19 日 ~ 20 日 旭川市 2 名 ） |
| 道北地区社協職員自主研修会 | （ 19 年 7 月 4 日 ~ 5 日 留萌市 5 名 ） |
| ふくしのまちづくり研修会 | （ 19 年 7 月 9 日 ~ 10 日 夕張市 2 名 ） |
| 経理・事務担当者研修会 | （ 19 年 7 月 24 日 ~ 26 日 札幌市 1 名 ） |
| 市社協事務局長連絡協議会 | （ 19 年 9 月 27 日 札幌市 1 名 ） |
| 上川支庁管内社協職員研修会 | （ 19 年 11 月 16 日 ~ 17 日 札幌市 4 名 ） |
| 士別市民生委員児童委員研修会 | （ 20 年 1 月 28 日 ~ 29 日 層雲峡 2 名 ） |
| 地域に理解され支持される社協研修会 1 | （ 20 年 2 月 26 日 旭川市 3 名 ） |
| 地域に理解され支持される社協研修会 2 | （ 20 年 3 月 3 日 旭川市 3 名 ） |
| 上川地区社協会長事務局長会議 | （ 20 年 3 月 13 日 旭川市 2 名 ） |
| かみかわ地域福祉推進会議 | （ 20 年 3 月 19 日 旭川市 2 名 ） |

2 広報活動

(1)社協だよりの発行

全戸配布する「社協だより」は、本年度第 1 3 2 ~ 第 1 3 7 号 6 回を発行し、各種福祉サービス、ボランティア活動及び住民の福祉活動など幅広い情報

の提供と参加呼びかけに努めた。

(2)その他

必要に応じて市内報道機関・行政の協力により広報活動を行った。

3 ボランティア活動

(1)研修会への参加

日 程 10月13日(土)～14日
会 場 網走市
内 容 ボランティア愛ランド北海道2007
参加者 5名

(2)平成19年度士別市福祉教育懇談会

日 程 9月20日(木)13:00～16:00
会 場 士別中学校
内 容 市内各学校の教職員及び教育・福祉関係者に呼びかけ、互いの実践と情報を交換し交流する中で、地域福祉教育の啓発と促進を図ることを目的として開催した。
・研修 公開授業 「失恋の痛み」をテーマに、士別中学校1年生95名を対象に公開授業
・研修 講演、懇談 「子どもたちの下流志向と福祉」
講師 聖トマス大学人間発達科学科教授 鳥居一頼氏
参加者 教職員、福祉関係者 27名

(3)第25回士別市高校生ボランティアスクール

日 程 9月22日(土) 9:30～11:30
会 場 士別市民文化センター
内 容 聖トマス大学人間発達科学科教授鳥居一頼氏を講師に招き、人との出会いの大切さやボランティアの喜びについてお話しいただき、意見交流を行った。
参加者 13名

(4)第29回住民福祉活動を進めるつどい

日 程 9月22日(土)13:00～16:30
会 場 士別市民文化センター 小ホール
内 容 今回は、講演と映画会の二部構成で実施した。

- ・講演会 「ボランティアという魅惑の林檎」と題して、聖トマス大学人間発達科学科教授 鳥居一頼氏と、福祉情報ネットワーク誌「メビウス」編集長 我妻武氏に、ボランティアの楽しさ、あり方について対談していただいた。
- ・映画会 「機関車先生」を上映した。

参加者 149名

(5)平成19年度中学生・高校生ワークキャンプ

日程 11月10日(土)～11日(日)

会場 土別市つくも青少年の家

内容 障がいをもって生活している方々や、ボランティア活動に取り組んでいる方々とのふれあいの中から、生きることの尊さや支えあう心の大切さを学び、ボランティア活動に取り組むきっかけの場となることを目的として開催した。

テーマ 「ぼくらにできるボランティア」

- ・車イス体験
- ・車イス利用者と交流
- ・シンポジウム「ボランティアあれこれ」

講師 道北車イスの会 会長 本郷弘幸氏
市内ボランティア団体

参加者 20名

(6)第24回しべつ青年ボランティアスクール

日程 11月26日18:30～20:30

会場 土別市民文化センター

内容 「人にやさしいまちづくり」をテーマに講演会とシンポジウムを行った。

- ・講演「やさしいまちづくりの実現に向けて」

講師 D P I 北海道ブロック会議事務局長 我妻 武 氏

- ・シンポジウム

シンポジスト 道北車イスの会長 本郷弘幸氏

社協中央支部長 安達佳充氏

ボランティアセンター 菊地正昭氏

今回は、平成19年度ボランティア団体研修会、中央支部研修会と同時開催した。

参加者 71名

(7) ボランティア団体研修会

日 程 11月26日 18:30 ~ 20:30

会 場 土別市民文化センター

内 容 しべつ青年ボランティアスクールと同様

今回は、第24回しべつ青年ボランティアスクールと同時開催した。

(8) 第17回土別市小学生ボランティアスクール

日 程 12月 1日(土) 10:00 ~ 12:00

会 場 サポートセンターしべつ

内 容 使用済み切手、リングプルなど収集ボランティア活動について、土曜ボランティア学習塾塾生と交流しながら学習した。

参加者 17名

(9) 第17回土別市中学生ボランティアスクール

日 程 1月26日(土) 12:00 ~ 18:00

会 場 サポートセンターしべつ、旭川大雪アリーナ

内 容 障がい者スポーツについて学習し、ジャパンパラリンピックアイススレッジホッケー競技大会を観戦した。

参加者 19名

(10) 第29回土別市女性ボランティア活動研修会

日 程 2月25日

会 場 土別市民文化センター

内 容 上川教育局社会教育主事 濱中昌志氏を講師に招き「地域の子どもたちへの支援について」講義をいただき、意見交流をした。

参加者 56名

(11) 福祉・ボランティア団体助成

福祉団体、ボランティア団体の活動を援助するため、18団体に総額80万円を助成した。

(12) 学童生徒のボランティア活動普及事業

本事業は、学童生徒の社会福祉への理解と関心を深め、ボランティア精神を養うことを目的として、市内全校(小学校11校、中学校6校、高等学校2校)に対し、活動の助長を図るべく、生徒数20人以上の学校は年間5万円、20人未満の学校は年間3万円の助成をし、これまでの活動が継続されている。

(13) 土別市ボランティアセンターの運営

本市のボランティア活動を推進するため、20名の運営委員のもと各種ボランティアスクール、ワークキャンプ、住民福祉活動を進めるつどい等の企画運営や、ボランティアセンターだよりの発行等に取り組んだ。

運営委員会 委員20名 委員会12回(第2月曜日)開催

個人登録ボランティア 60名(平成19年3月31日現在)

ボランティアセンターだよりの発行 3回

社協だより掲示板への掲載 6回

ボランティア指定校担当者会議の開催 2回

自主研修会の実施(2回)

・9月21日 ボランティアとは?(原点に立ち返る)

・2月 2日 AED講習会

土曜ボランティア学習塾の開催

(ボランティア体験学習や情報交換を継続的に実施)

塾登録者 12名(中学生4名、高校生8名)

塾開催日 毎月第2土曜日(10回開催)

開催内容 ふれあい広場(学童生徒コーナー)企画運営

アダプテッドスポーツ体験、障がい者との交流等

物品払い出し関係

(預託)

布オムツ 8件 923枚(繰越 671枚・本年度 252枚)

古切手 170件 180,448枚

使用済みカード 97件 2,606枚

その他 117件 (書き損じハガキ・缶ジュース・雑巾・タオル他)

(払出)

布オムツ 650枚(市内寝たきり老人、障がい者)

古切手 166,432枚(誕生日ありがとう運動本部)

使用済みカード 2,562枚(ジョイセフ)

その他 40件(書き損じハガキ・缶ジュース・タオル・石鹸他)

(14) 声の図書活動

声の図書貸出事業

本事業は、小説、市の広報誌、社協だより等を、土別声の図書会の朗読ボランティアが録音し、貸し出すものであり、出来上がった録音テープは現在1,441編 9,793本となり、本年度の貸し出しは延 50件 119編 689本であった。

・利用者 視力障がい者 5名

4 在宅福祉サービス活動

(1)小地域ネットワーク活動推進事業

在宅福祉活動がより一層地域に定着していくことを願って平成2年度から単
位自治会を対象とした「在宅福祉サービス実践地区指定事業」を行ってきたが、
平成14年度より「小地域ネットワーク活動推進事業」として改め、各自治会
とタイアップした地域福祉の推進を目指し、本年度は20自治会に対し、1自
治会30,000円の助成を行った。

5 互助共励活動

(1)無縁仏供養

日程 8月20日

会場 しべつ霊園「無縁の碑」

無縁者の霊を慰めるため、昭和60年士別市が建立した「無縁の碑」におい
て、市関係者の参列のもと供養した。

(2)歳末たすけあい募金運動(19年12月1日~28日)

本募金運動は、北海道共同募金会士別市支会と共催で行い、本年度は55件
1,809,182円の浄財が寄せられた。この運動には、各報道機関をはじめ
多くの市民の協力を得たところであるが、特に、催し物による募金活動にご
貢献いただいた。

よって、ボランティアサークルむぎの会主催による「歳末チャリティーふれあ
い演芸会」益金524,168円、しべつふれあいの会主催「歳末チャリティー
ーカラオケ選手権大会」益金387,100円で、このふたつの催し物による
募金合計は実績の50%となる。

(3)「ふれあい募金箱」運動

昭和58年より、歳末たすけあい募金運動の通年化と市民の善意の助長を図
るため、しべつふれあいの会の協力のもと「ふれあい募金箱」を設置しており、
その総額が105,100円となり全額趣旨に添って「歳末たすけあい募金」
として寄贈した。

募金箱設置事業所 市内40ヶ所

(4)歳末たすけあい慰問事業（19年12月）

民生委員・市保健福祉部の協力により対象者を調査し、歳末慰問金を配布した。

土別市地区 対象者 243名 慰問金 1,220,000円

朝日町地区 対象者 19世帯 慰問金 133,000円

(5)ふれあい広場'07INしべつPART24

日 程 7月7日（土）～8日（日）

会 場 土別市総合体育館

テ ー マ 「で愛 ふれ愛 かたり愛」

実施主体 福祉・ボランティア団体・各学校並びに市民有志で構成された、193名の「ふれあい広場'07INしべつPART24実行委員会」が、企画から当日の運営に至るすべてを行った。

内 容 ・語らいコーナー…語らいサロン、血圧測定、健康相談（市立病院医師派遣）

・体験の広場…点字教室、盲導犬体験・講話、収集ボランティア活動体験、障がい者スポーツ交流（車イスラグビー等）等

・ステージ企画…ふれあいコンサート等

・ふれあいの店…障がい者関係作品展示即売、バザー

・ボランティア障がい者福祉展

…ボランティアコーナー、特別支援教育作品展

・学童生徒ボランティア活動展

…各学校のボランティア活動時のパネル写真展・学童生徒企画コーナー（駄菓子屋、射的等）

・福祉標語

応募点数 317名 355点

最優秀作品 「つないだ手 感じるぬくもり あふれる笑顔」

・ふれあいの夕べ…会券販売数 774枚

会 議 実行委員会2回含め 24回開催

入 場 者 2日間 約 3,000名

協 力 者 2日間 541名（実行委員を除く）

ガイドヘルプ活動

ガイドヘルプ委員会を設け、自力で移動の困難な方に対してのガイドヘルプ活動を行い、2日間で13名が参加してくれた。

終了後の後片づけは、沢山のボランティアさんに最後まで協力いただいた。

また、つくも園、愛成会の利用者さんにも、前日の準備も主体的に取り組んでいただいております、ふれあい広場の目的に近づいてきている。

(6)生活福祉資金貸付事務

低所得者の自立更正を援助するため、生活福祉資金貸付事務を行った。

(貸付状況)本年度1件

| 区分 | 生業 | 修学 | 支度 | 技能 | 福祉 | 生活 | 療養 | 住宅 | 合計 |
|---------------|----|----|---------|----|----|-----|----|------|----|
| 19年度分 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 生活福祉資金貸付事業研修会 | | | 20年9月5日 | | | 旭川市 | | 1名参加 | |

(7)特別生活資金貸付事務

特別生活資金(12月1日~2月29日) 0件

(8)士別市心配ごと相談所運営

近年、市民の悩みごとや心配ごと等、相談内容の多様化が目立っており、適切な助言社会資源の紹介活用等を行った。

相談所

常設相談所...社協事務局内に置き、相談員が随時相談を受けている。

地域相談所...51名の相談員(民生委員)宅とし随時相談を受けている。

相談件数 年間196件

解決...72件・再来...14件・民生委員...22件・他機関...42件・その他...46件

(9)老人安全杖贈呈事業

おおむね70歳以上の高齢者に対し、申し出により安全杖を無料で贈呈しているが、本年度は、205本の利用があった。

(10)被災見舞い

1月1日に火災で全焼(全壊)した世帯に対して、1万円の見舞金を贈った。

6 朝日地域福祉圏事業

(1)ふれあい昼食会

町内の70歳以上で独居及び75歳以上のご夫婦世帯を対象に昼食会を月1回開催し、ボランティアを含め延べ486名の参加があった。

(2)第40回福祉運動会

日程 10月19日(金)

会場 トレーニングセンター

参加者 170名

(65歳以上の住民 112名、ボランティア 58名)

(3)ふれあいサービス事業

地域で援護を必要とする人や家族が、住み慣れた家で通常の生活ができるように、住民相互の助け合いによる有償のボランティア活動「ふれあいサービス」事業で、草取り、窓拭き、野菜畑おこし等、延べ15件のサービスを実施した。

(4)ボランティア支援事業

よって館運営支援

子育てサロン運営支援

知恵の蔵運営委員会支援

広報紙「ぼらんていあネットワーク」を月1回発行した。

(5)助成事業

心身障がい児の療育施設通所に対し交通費の一部を助成した。

・土別市こども通園センターのぞみ園通園者1世帯(21回)に対し

総額 18,270円

・旭川市療育施設通園者1世帯(13回)に対し

総額 24,830円

・名寄市立総合病院リハビリ通院者1世帯(10回)に対し総額 13,100円

(6)福祉貸付金事業

緊急不時の出費により生活が困窮する朝日地区住民に対し行うもので、本年度の利用はなかった。

当年度内償還件数は、2件 25,000円、3月31日現在の貸付件数は、7件 515,000円である。

- | | | |
|----|-----------------------|-------|
| 7 | 土別市総合福祉センター指定管理運営事業 | [別記1] |
| 8 | 土別市多世代スポーツ交流館指定管理運営事業 | [別記2] |
| 9 | サポートセンターしべつ受託事業 | [別記3] |
| 10 | 土別市施設入浴サービス受託事業 | [別記4] |
| 11 | 土別市移送サービス受託事業 | [別記5] |
| 12 | 土別市在宅介護支援センター運営受託事業 | [別記6] |
| 13 | 福祉パトロール受託事業 | [別記7] |
| 14 | 土別市生きがいデイサービス受託事業 | [別記8] |
| 15 | 介護保険制度に係わる事業者指定 | |

(1)居宅支援事業所(ケアプラン作成機関)

土別市社協居宅介護支援事業所

平成12年4月1日(指定) [別記9]

(2)居宅サービス事業所（サービス提供機関）

| | | |
|-----------------|---------------|--------|
| 士別市社協ヘルパーステーション | 平成12年4月1日(指定) | [別記10] |
| 士別市社協訪問入浴事業所 | 平成12年4月1日(指定) | [別記11] |

16 障害者自立支援法に係わる事業者指定

(1)居宅支援事業所（身体・知的・児童・精神）

| | | |
|-----------------|---------------|--------|
| 士別市社協ヘルパーステーション | 平成18年4月1日(指定) | [別記12] |
|-----------------|---------------|--------|

17 介護保険関係研修会への参加

- ・ 障害者自立支援給付支払事務等に係る事業者説明会
(19年6月15日 旭川市1名)
- ・ 訪問入浴介護実務者研修
(19年6月17日 札幌市1名)
- ・ 全道ホームヘルプサービス研修大会 (19年7月12日～13日 札幌市2名)
- ・ 日本在宅介護協会緊急セミナー
(19年7月23日 札幌市1名)
- ・ 士別市高齢者虐待防止ネットワーク会議
(19年8月29日 士別市2名)
- ・ 介護支援専門員専門研修・更新研修(7日間)
(19年8月21～10月5日 旭川市・札幌市5名)
- ・ 上川北部地域重度心身障害児(者)介護支援研修会
(19年10月20日 名寄市2名)
- ・ 福祉有償運送に係る運転協力者代替講習会
(19年10月27日、28日 旭川市12名)
- ・ 全道ホームヘルプサービススキルアップ研修
(20年1月16日～17日 札幌市1名)
- ・ 士別市民生委員児童委員協議会全体研修 (20年1月28日～29日 上川町2名)

18 その他

| | | |
|-----------|-----|-------------------------|
| 社協監事による監査 | 4回 | 4月27日・5月18日・10月2日・2月18日 |
| 社協正副会長会議 | 3回 | 5月16日・10月29日・3日8日 |
| 社協理事会 | 4回 | 4月1日・5月23日・12日5日・3月16日 |
| 社協評議員会 | 2回 | 5月30日・3月26日 |
| 各種会合 | 20回 | |